

★チャレンジ! 夢に向かって★

* ~ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成~

避難訓練を行いました！！

昭和58年の日本海中部地震の発生から5月26日（県民防災の日）で41年となるのを前に、5月24日（金）の3校時に避難訓練を行いました。今回は秋田県沖を震源とする地震が発生し、大仙市で震度5強を記録したことを想定して行いました。

「地震が発生しました。揺れがおさまるまで静かに安全に待ちなさい」という放送の後、教室にいる子どもたちは、両膝を床につけて机の脚を持ちながら机の下にもぐり、頭を守りました。また、体育館にいる子どもたちは、上から物が落ちてこない場所で膝と足の甲を床につけ、両手で頭を守りました。全員、自分の命を守る行動をとることができていて、すばらしいなあと思いました。

その後、「あ、おかしも！」の原則（あわてない・おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）を守り、避難場所のグラウンドに移動しました。避難にかかった時間は1分47秒でした。

今回の避難訓練には、大仙市役所太田支所市民サービス課で消防・防災担当をしている〇〇〇〇さんから指導者として参加していただきました。振り返りの会では、〇〇さんから次のようなお話がありました。

- ・素早く、しかも集中して静かに避難行動をとっており、とてもすばらしいと感じました。
- ・今年は能登半島地震もあり、地震について気になっている人も多いのではないのでしょうか。大仙市では、いざという時の備えとして、市内で約100か所を避難所に指定しています。太田には12か所あり、そのうちの一つが太田北小学校です。もし、学校が避難所になったときには、みんなで協力し、避難してきた人を受け入れてください。
- ・災害はいつ起きるか分かりません。普段から防災について関心を持って生活してください。今日の避難訓練はすばらしかったです。



また、全校児童を代表して2年生の〇〇〇〇さん、4年生の〇〇〇〇さん、6年生の〇〇〇〇さんが避難訓練を振り返り、発表してくれました。〇〇さんからは「あ、おかしもを全部守ることができました」、〇〇さんからは「しゃべらずに避難することができました」、〇〇さんからは「体育館での避難コースや安全な場所を知ることができてよかったです」と避難訓練を振り返りました。

避難訓練を通して、本校で目指す「**がんばり**抜く子ども（生命を大切にし、生命を輝かせて日々努力する子ども）」の姿をみることができました。地震はいつ来るか分かりません。だからこそ、普段からの準備が大切になります。これからも自分の命、そして他人の命を守れる子どもを育てていきたいと考えています。

お知らせ

避難訓練の様子は、学校ホームページのギャラリー（行事写真）及び校内のワークスペース前にある行事写真コーナーに掲載しています。御覧いただけますと幸いです。